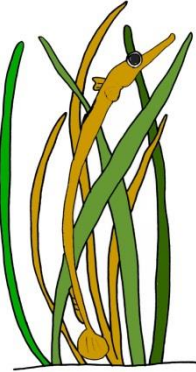


アマモ場の生きもの

○アマモにかくれる

アマモの葉（は）っぱに体の形や色をにせることで敵（てき）から身（み）を守ることができるんだ。ヨウジウオは、細長い体でアマモの葉（は）の間に身をかくすよ。コシマガリモエビは、アマモと同じ色をしていて、葉っぱにしがみついているんだ。



ヨウジウオ



コシマガリモエビ

○ウミウシの仲間（なかま）

アマモ場には、かわいらしいウミウシの仲間（なかま）がたくさんすんでいるよ。ムカデメリベは、口を大きくひらいて小さなエビなどをつつみこむようにして食べるんだ。コノハミドリガイは、時々体をくねらせて泳ぐよ。



ムカデメリベ



コノハミドリガイ

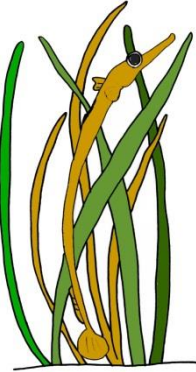
- ヨウジウオは、（ ）に身をかくします。
- ムカデメリベは、（ ）を大きくひらいて、小さなエビなどを（ ）のようにして食べます。

気づき・感想

アマモ場の生きもの

○アマモにかくれる

アマモの葉（は）っぱに体の形や色をにせることで敵（てき）から身（み）を守ることができるんだ。ヨウジウオは、細長い体でアマモの葉（は）の間に身をかくすよ。コシマガリモエビは、アマモと同じ色をしていて、葉っぱにしがみついているんだ。



ヨウジウオ



コシマガリモエビ

○ウミウシの仲間（なかま）

アマモ場には、かわいらしいウミウシの仲間（なかま）がたくさんすんでいるよ。ムカデメリベは、口を大きくひらいて小さなエビなどをつつみこむようにして食べるんだ。コノハミドリガイは、時々体をくねらせて泳ぐよ。



ムカデメリベ



コノハミドリガイ

- ヨウジウオは、（アマモの葉の間）に身をかくします。
- ムカデメリベは、（口）を大きくひらいて、小さなエビなどを（つつみこむ）ようにして食べます。

気づき・感想

アマモ場にすむ生きもの



おきあ 沖合いのアマモというかいそう 海草
が生えている場所^{ぼしよ}にすむ^い生きもの
のたちです。
かれらは、アマモに^み身をかく
してすんでいます。



ヨウジウオ

《ヨウジウオ科》^か

おお 大きさ 20 cm

アマモの葉の^は間^{あいだ}に
身をかくしている

オクヨウジ

《ヨウジウオ科》^か

おお 大きさ 10 cm

ヨウジウオよりも

からだ^{ほそ} 体は細くて^{みじか} 短い



お 尾でまきつける




しろ^{はんてん} 白い斑点と^{くろ} 黒い
おお 大きな斑点

クサフグ

《フグ科》^か

おお 大きさ 10 cm

アマモ場^ばで多く^{おお}見られ
^{すな} 砂によく^{もぐ} 潜っている

 ^は するどい^{ちゆうい} 歯に注意

アマモ場にすむ生きもの

タツノオトシゴ

《ヨウジウオ科》

おお
大きさ 10 cm

アマモに尾をからませて
なが
流されないようにしている



オス



オスのお腹の袋で
たまご
卵をそだてる

メス



メスには
たまご
袋がない

アミメハギ

《カワハギ科》

おお
大きさ 5 cm

アマモをかんで、潮に
なが
流されないようにしている



アサヒアナハゼ

《カジカ科》

おお
大きさ 15 cm

き
でいてい
砂泥底にすむ
ホヤに
産卵する

アマモ場にすむ生きもの

メバル

《フサカサゴ科》

おお
大きさ 15 cm

ようぎよ
幼魚がかくれ場に
りよう
利用している



ハオコゼ

《ハオコゼ科》

おお
大きさ 8 cm

かいそう
海藻がしげる
ばしょ おお
場所に多い

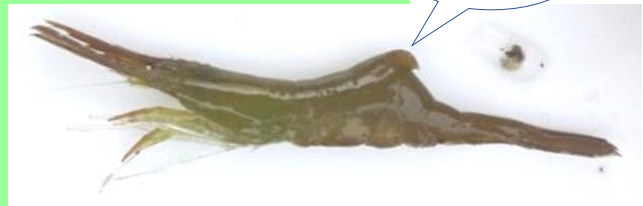


コシマガリモエビ

《モエビ科》

おお
大きさ 2 cm

アマモにしがみついて
み
身をかかしている



エビジャコ

《エビジャコ科》

おお
大きさ 4 cm

ば さでいてい
アマモ場の砂泥底にすむ

ムカデメリベ

《メリベウミウシ科》

おお
大きさ 10 cm

からだ
体をくねらせて泳ぎ
くち おお ひろ
口を大きく広げて
エサをとる



コノハミドリガイ

《ゴクラクミドリガイ科》

おお
大きさ 3 cm

みどりいろ たいしよく くる てん
緑色の体色に黒い点
まいろと くる
黄色と黒のふちどり

トゲモミジガイ

《トゲモミジガイ科》

おお
大きさ 10 cm

ば おきあい
アマモ場や沖合の
さでいてい
砂泥底にいる



ミミイカ

《ダンゴイカ科》

おお
大きさ 3 cm

ば おきあい
アマモ場や沖合の
さでいてい
砂泥底にいる